

会 議 録

会 議 の 名 称	平成26年度第5回行財政改革推進委員会
開 催 日 時	平成26年11月8日(土) 13時30分から15時20分まで
開 催 場 所	吉川市役所 202会議室
出 席 委 員 氏 名	大塚祚保委員長、間宮玲子副委員長、伊藤博章委員
欠 席 委 員 氏 名	なし
担当課職員職氏名	政策室副室長 中村詠子、政策室行政改革担当主査 櫻井敬雄 政策室行政改革担当主任 松井 勉
会 議 次 第 及 び 会 議 の 公開又は非公開の別	1 開会 2 あいさつ 3 議事 第4次よしかわ行財政改革大綱及び推進プラン策定について 資料1:「第4次よしかわ行財政改革大綱」体系図(柱立て)の 検討② 資料2:個別改革項目一覧表 資料3:「第4次よしかわ行財政改革大綱」案 4 その他 5 閉会 すべて公開
非 公 開 の 理 由	なし
傍 聴 者 の 数	0名
会 議 資 料 の 名 称	次第、座席表、議案書、参考資料
会 議 録 の 作 成 方 法	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
会 議 録 確 認 指 定 者	大塚委員長、伊藤委員
そ の 他 の 必 要 事 項	なし

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）	
1 開 会 司会（櫻井主査）	<p>————— 《開 会》 —————</p> <p>ただ今より、平成26年度第5回行財政改革推進委員会を開会する。</p>
大塚委員長	<p>————— 《あいさつ》 —————</p> <p>もう既に5回目の会議となった。資料を拝見すると大詰めに近づいているようである。ご審議をよろしく願います。</p>
司会（櫻井主査）	<p>————— 《議事審議》 —————</p> <p>それでは、これより議事に入る。議事の進行については、大塚委員長に願います。</p>
大塚委員長	<p>それでは、議事「第4次よしかわ行財政改革大綱及び推進プラン策定について」について、資料に沿って検討していく。資料について、事務局より報告をお願いします。</p>
松井主任	<p>資料1の表面について説明。行財政改革大綱の体系案の検討として、図2の案について説明。</p>
大塚委員長	<p>図2は、資料1から3の全てに連動している部分はあるが、資料1の図2についてどうか。</p>
委員	<p>（委員了承）</p>
大塚委員長	<p>4つのスクリーンの「選択と集中」という表現は、非常に抽象的であるため、ぼけてしまう感じがする。違う表現にすることができないのではないか。</p>
伊藤委員	<p>改革項目としてふさわしいか見る必要がある。なかには行財政改革にそぐわないものもある。事業を取捨選択するなかで「選択と集中」が必要と思われる。</p>
大塚委員長	<p>資料1から3までは連動していると思われるため、後で、議論していきたいと思う。では続いて、資料1の裏面と資料2について、事務局より報告をお願いします。</p>
松井主任	<p>資料1の裏面と資料2について説明。前回の委員会で報告した事業と同事業であるため、主に、大柱と中柱について説明。</p>

大塚委員長	大柱にある「効率的な」、「効果的な」という表現は削除しても良いと思う。というのは、我々は、「効果的・効率的」と並列に使うことがよくある。資料3の4つのスクリーンのなかでも並列的に使っている部分があり、効率的と効果的は、きっちりと区分することに無理があると思われる。
伊藤委員	「安定的な」もなくともいいのではないか。
大塚委員長	大柱は、「財政運営」、「行政運営」、「市民サービス」の3本でいいのではないか。
間宮副委員長	中柱の「見える化の推進」の「見える化」という表現は、一般的なものか。
大塚委員長	「見える化」は、誰に何を見せていくものなのか。
櫻井主査	現状を正確に把握し、将来推計を行って事業を進めていきたいというものである。
大塚委員長	「事務の効率化」は非常に範囲が広い。「見える化」は「事務の効率化」と一緒でもいいのではないか。
伊藤委員	No.19「地方公会計の整備」は、財政運営と密接な関係にあるため、「財政運営」に含め、No.20「企業会計への移行」は、No.8「水洗化率の向上」と絡めて下水道の経営戦略のなかの一つとして一緒でもいいのではないか。さらに、No.18「公共施設マネジメントの推進」は、「事務の効率化」でいい。
大塚委員長	No.18、19、20は、財政問題とも捉えられる。
間宮副委員長	No.18、19、20は、前回の資料では、財政関係の文言だったと思う。
松井主任	確かに、前回の資料では、中柱「計画的な財政運営」としていた。No.52「シティプロモーションの推進」を「市民満足度の向上」に含めたことにより、「見える化の推進」という中柱名にした。
間宮副委員長	「見える化」は分かりにくいと思う。

伊藤委員	初めて見た市民が理解できる表現にしなければならない。
大塚委員長	No.18、19、20は、財政運営に近いと思う。また、「市民満足度の向上」と「サービス向上」の違いも良く分からない。
伊藤委員	「市民満足度の向上」をさせるためには、「サービス向上」をさせる必要がある。
大塚委員長	この二つはかなり連動している。あえて分ける必要はあるのか。考え方をはっきりさせていかないといけない。
間宮副委員長	No.55「戦略的な職員採用」やNo.56「職員研修の充実」は、行政運営に入ると思う。
大塚委員長	大柱の「安定的な」、「効率的な」、「効果的な」という表現を削除すると、資料2の各改革項目にも影響がみられる。資料2の議論もこのくらいにして、資料3に進みたいと思う。全ての資料が関係しているため、再度、議論していただくことになると思う。 資料3について、事務局より報告をお願いする。
松井主任	資料3について説明。これは、「第4次よしかわ行財政改革大綱」を作成しており、途中経過を報告するものである。第3次では、大綱と推進プランを別々に作成していたが、第4次では、計画的なものも全て大綱に含み1冊とする予定である。
大塚委員長	さきほどの「選択と集中」は、資料3を読むと、都市経営的な話になっていると思う。自治体として今後拡大していくのか、それとも縮小していくのか、この内容であれば、都市経営的なものであり、「選択と集中」は意味が伝わらないのではないか。「都市と経営」でもいい。
松井主任	「選択と集中」は、「健全財政」を追求しすぎて「市民主役」が疎かになってはいけないし、「市民主役」を追求しすぎて「健全財政」が疎かになってはいけない。「健全財政」と「市民主役」を両立させるためのスクリーンで、事業を決定していくうえで、費用対効果を勘案しながら、事業の相関性を意識していくために設定したスクリーンである。

伊藤委員	「選択と集中」は、「健全財政」と「市民主役」は両輪であり、そのバランスをとる機能をしている。
間宮副委員長	バランスをとるものという、市民がすぐ分かるような言葉があることが望ましい。「費用対効果」の方が分かりやすい。「経営」という言葉では分かりにくい。
大塚委員長	4つのスクリーンを並べた時に、「選択と集中」だけが異質というか、抽象的で何をどうしたいのかが伝わりにくい。「都市経営」とすれば意味が含まれる。「費用対効果」では、主語が分かりにくい。
伊藤委員	確かに、スクリーンのなかに、「選択と集中」という手段を入れても分からない。
間宮副委員長	「都市経営」という言葉には、「費用対効果」という言葉の意味が含まれるのか。
大塚委員長	含まれている。「費用対効果」と「都市経営」は同じような言葉である。
松井主任	「都市経営」は範囲が広すぎないか。
大塚委員長	確かに、「都市経営」のなかに、「健全財政」を含むこともある。「選択と集中」を除いて3つのスクリーンとしてはどうか。
中村副室長	除いた場合は、大柱の「安定的な」、「効率的な」、「効果的な」という表現が必要となってくる。それぞれの事業が、費用対効果を加味して、効果的に効率的に事業をしているという前提であれば、「選択と集中」を除いても問題はない。
櫻井主査	4つのスクリーンの説明のなかで、全体のバランスを取りながら行っていく、という説明書きがあれば、意味が伝わるのではないか。
大塚委員長	それでは全体を整理していく。まずは、大柱から確定させて議論を進めていきたい。大柱は、「安定的な」、「効率的な」、「効果的な」という表現を除いて「財政運営」、「行政運営」、「市民サービス」でよろしいか。

	(委員了承)
大塚委員長	「見える化の推進」と「サービス向上」の扱いはどうするか。
伊藤委員	統合していいのではないか。
間宮副委員長	「見える化の推進」を「歳出減少」に、「サービス向上」を「市民満足度の向上」に統合する。
大塚委員長	これで、大柱に2個の中柱がぶらさがり、大柱3個に対して、中柱6個とバランス良くなった。続いて、4つのスクリーンはどうするか。
伊藤委員	「4つのスクリーン」を「改革のスクリーン」という形にして、「健全財政、市民主役、地域の特性」の3つにする。スクリーンの説明のなかで、3つのバランスを取って事業を行っていくという「選択と集中」の説明を入れていけばいいのではないか。
間宮副委員長	それでいいと思う。
大塚委員長	大きな流れは決まったようだ。大柱の「安定的な」、「効率的な」「効果的な」という表現を除いたことにより、改革項目の分類が変わるようであるなら、事務局で整理をしてほしい。
松井主任	別紙2のなかで、改革項目にふさわしくないものがあつたら、意見をいただきたい。参考までに、改革することにより、現状と比べて成果が上がるものについて、項目を挙げている。
間宮副委員長	No.11の「窓口業務の外部委託化の導入」では、市職員が実施するよりも安価で行うことができるとあるが、導入検討の時に、安価という費用だけではなく、効果についてもしっかり検討していただきたい。
伊藤委員	新庁舎のユニバーサルデザインなど、新しいものにしたら改善されるものは、改革と言わないのではないか。現状にあるものが良くなるなら分かるが、新しく作って良くなるのは当たり前である。 事務事業評価シートを見ると、毎年、評価をしているが、評価

間宮副委員長	<p>が変わらないものが多い。職員の意識を変えるよう取り組んでほしい。改革が進んでいないように感じる。</p> <p>毎年同じことをやっているから、変化がないため、評価も同じになっているのではないか。</p>
伊藤委員	<p>No.57「入札制度改革」は、何が改革に当たるのか。</p>
櫻井主査	<p>一般競争入札の対象金額の設定を下げっていくものである。</p>
伊藤委員	<p>表現は分かりやすくしてほしい。</p>
中村副室長	<p>いろいろ疑問もあると思うが、ここに挙げている事業は、担当課が行財政改革項目として意識して挙げたものである。そのため、できる限り、行財政改革の項目として今後も意識していくよう、掲載していきたいと考えている。</p>
大塚委員長	<p>今回は、大きな流れを決定できたと思う。今後の予定について事務局より報告していただきたい。</p>
松井主任	<p>次回の委員会は、12月上旬を予定している。その時に大綱案をお示しし、その後、1月から2月にかけてパブリックコメントを行う予定である。パブリックコメントの意見を取り入れたものを最終案として3月の委員会でお示しし、決定していくことになる。</p>
大塚委員長	<p>次回は、12月7日（日）の午後3時に開催とする。</p> <p>————— 《閉 会》 —————</p>
司会（櫻井主査）	<p>以上で本日の委員会の議事を終了とする。これをもって、平成26年度第5回行財政改革推進委員会を閉会する。</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>平成26年11月13日</p> <p>署名委員（大塚委員長 自署） 署名委員（伊藤委員 自署）</p>	